

霧島

広報きりしま

5
May.2011
VOL.120



特集 Special Feature

あの大震災から1か月
実際に被災地で見た現状は想像以上だった

今こそ 被災地ルポ 一つになるとき



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL <http://www.city.kirishima.jp> メールアドレス/ E-mail info@city-kirishima.jp
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 印刷/国分新生社印刷



始良楠元モデル



国分中央モデル

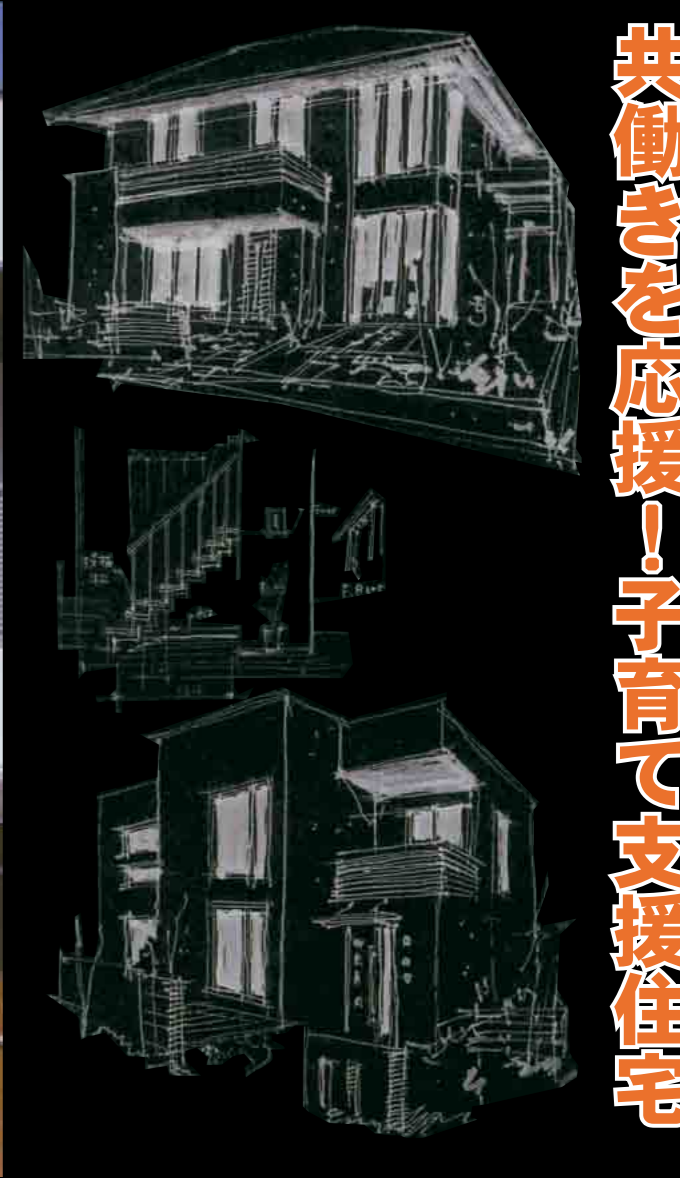


国分下井モデル



鹿児島星ヶ峯モデル

家事がぐっと楽になる ラク楽家事住宅



共働きを応援！子育て支援住宅

お客様の失敗 [第1位] 「知らなかった」を無くす本
 お客様のご希望がなければ、「訪問営業」や「電話営業」は一切致しませんので、
 ご安心して資料請求をお申込み下さい。(初回資料到着の確認のみさせていただきます)

資料・カタログ
お手元に
お届けします

株式会社 国分ハウジング 設計研究会

○お電話・FAXでお気軽に。TEL.0995-45-8886 FAX 0995-46-4733
 ○メールでもご請求できます。✉ kokubu-housing01@cyber.ocn.ne.jp
 FAX・メールでご請求される型は①お名前②ご住所をご記入のうえご請求下さい。

霧島市国分中央3丁目3番3号 定休日水曜日・第4火曜日 <http://www.kokubu-housing.co.jp>
 (社)鹿児島県宅地建物取引業/県知事許可(6)第3444号 設計事務所県知事登録 第2-18-120号 特定建設業県知事許可 (特-20)第11688号

あの震災から1か月
実際に被災地を見た現状は想像以上だった



今こそ 一つになるとき

3月11日に発生した東日本大震災は、想像を絶する被害をもたらした。市でも義援金の受け付けや物資を届けた。4月4日からは民間空港所在都市間の大規模災害時における相互支援協定に基づき、仙台空港のある宮城県名取市に約1か月間、4班に分け16人の職員を派遣。私は4月4日から8日まで派遣の第一陣として避難所の支援にあたった。短い期間ではあったが、目に飛び込んでくる全ての光景が脳裏にはつきりと焼きついた。



津波によって一瞬にして流された閑上地区の住宅地。そこを、ただ呆然と歩く一人の女性がいた。その後ろ姿は悲しみに包まれているように見えた。

名取市は仙台市に隣接する人口7万3000人のまち。農業や漁業が盛んなほか、仙台空港があり、アクセスの良さから都市化が進んでいる。

被害が大きかったのは、海岸沿いの閑上地区と北釜地区。閑上地区は赤貝の産地として知られ約2100世帯、5600人が暮らす人口密集地、北釜地区は仙台空港の隣接地で約120世帯、400人が暮らしていた。そこをあの日、10メートルの津波が襲い全てを押し流した。4月22日現在、両地区で880人が亡くなり、今もなお約250人が行方不明となっている。

2日目、被災現場を見ることのできた。市街地から車を

走らせること5分、それまでの景色が一変した。がれきやつぶれた車が散乱、海岸から1キロも離れているのに、おもちゃを放り投げたかのように船が横たわっていた。



最初に到着したのは閑上小学校。1階部分は机やイスが津波に押し流され、泥やがれきだけが残っていた。体育館では流されたアルバムや写真などが集められ、持ち主が「思い出」を探しに来るときのために市民ボランティアの方が一枚ずつ泥を拭き取っていた。教職員の方に話を聞くことができた。同小は児童数298人、学校は地域の避難所となっていたため、地震発生後、保護者や避難してきた地域の

閑上地区にある「日和山」と呼ばれる小高い丘には津波で亡くなられた方をしのいで手作りの慰霊碑が建てられていた。たくさん家が立ち並んでいた閑上地区、その面影はなく基礎部分だけが残っていた。津波で押し流された船が道路に横たわる。机やイスは流され、教室には泥とがれきだけが残る。アルバムに付いた泥を一枚一枚拭き取る市民ボランティア。津波の威力で折れ曲った手すり。行方不明者を捜索する消防隊員、広島県や富山県からの隊員の姿もあった。建物の屋根部分に残るがれき。よく見るとバスの残骸だった。

方など約1000人がいた。そこが津波にのまれた。必死に3階まで逃げ全員が難を逃れたが、水が引かず、朝まで身動きできなかった。気温は氷点下まで下がり、雪もちらついていた。カーテンや暗幕にくるまり、体を寄せ合いながら寒さと恐怖に耐えた。教職員の方

活を奪ったのだ。ここでは公民館に勤務する名取市の職員1人と消防署職員3人が亡くなった。最後まで住民に避難を呼び掛けていたという。北釜地区も壊滅的な状況だった。特産品のメロンのハウスが立ち並んでいた場所に、その面影はなかった。空港に近づくにつれて車の残骸が目立つようになり、中には民家に突っ込んだままの車もあった。空港はかなりの被害に見えた。窓ガラスは割れ、中まで浸水。高さ2メートル以上のところにも津波の跡があった。

次に向かったのは閑上地区の中心部にある公民館。車を降りると目の前に広がる光景に私は言葉を失い震えが止まらなかつた。以前は家が立ち並ぶ住宅密集地だったが、津波で根こそぎ流された。津波が一瞬にしてそこにあった生

テレビや新聞で何度も見た光景は、想像を超える絶望感に包まれていた。



復興へと導く一人一人の力

名取市には16か所の避難所があり、約1700人が避難所生活を送っていた。場所によってはインフルエンザやウイルス性腸炎などが流行しており、私が担当した避難所では体調を崩して救急車で運ばれた方もいた。慣れない集団生活と将来への不安に被災者の顔には疲れの色が見えた。

現地で知った真実

担当した避難所に一冊のノートがあった。それは職員がつける日誌。3月20日の欄に「インド大使館の方が演奏会を開いてくれた。避難所で初めて笑い声を聞いた」と書いてあった。10日目にして初めての笑顔、地震発生後の絶望感に包まれた避難所の様子が垣間見えたような気がした。たくさんの訪問者もいた。

40代の男性が「名簿を見せてください」と駆け込んできた。「教え子の安否確認をした」という。男性は高校教師で、以前名取市の高校でも教

えていた。残念ながら名簿に名前がなかった。男性は帰り際、まるで自分にそう言い聞かせるかのように「必ずどこかにいる」と一言残して去って行った。その姿に私も「無事でいてくれ」と強く願わずにはいられなかった。

被災者の一人が白いワイシャツに着替えだした。仕事かと思ったら、それは葬儀のための喪服だった。毎日のように行方不明者が発見され、火葬場はフル回転、地元だけでは足りず山形県や東京などで火葬される方もいると聞いた。

震災時の様子を話す方もいた。60代の男性は昨年住宅ローンが終わったばかりの家が流された。住宅の基礎だけが残り、見つけれられたのは表札だけ。男性は「現地に行き25年間住ませてくれたことへのお礼を言ってきた。もう上には戻らない」と寂しそうに話していた。70代の男性は津波に襲われたときの話をし

てくれた。40代ほど流され、たまたまぶつかった木に必死でよじ登り九死に一生を得た。「津波の力はすごくて何もできなかつた。あのとき木にぶつかっていなければ私はここにいなかった」とその時の恐怖を振り返った。

私たちができること

「頑張らない、けど諦めない」と書いてある避難所があった。被災者の方が書いた言葉だ。収まらない余震、津波への恐怖、福島原発事故への不安、絶望的になりながらも被災者は頑張つて耐えていた。「もうこれ以上何を頑張ればいいのか。頑張らなくていい、とにかく今を耐えて復興を信じよう」そんな思いが込められているように感じた。

被災者の折れそうな心を支えている人がたくさんいた。行方不明者の捜索のために全国から自衛隊や消防隊員が集まっていた。物資も毎日のように全国から届けられる。避

難所では各地から職員が派遣され被災者を支えていた。市民レベルの動きもある。

毎日、海で行方不明者をボランティアで探すダイバーがいた。避難所では、たくさんの方が振る舞いをしてくれた。美容師さんのカットサービスや「こんなことしかできないんですけど」と言つて一日、子どもたちと遊んでくれた大学生もいた。避難所では、あまり笑顔を見ることがなかったが、支援者の周りには思いを一つにした、絆が生まれ、笑顔が広がっていた。

復興への道は険しいかもしれない、しかし希望を捨てずに諦めなければ必ず道は見える。その道を照らすのは全国からの応援。霧島が新燃岳の噴火で元気を失ったとき全国から支援が届いた。その思いと関係者の諦めない気持ちで今、少しずつ元気を取り戻してきている。一人一人できることは小さいかもしれないけれど、できることをやろう。きっとその思いが被災地を復興へと導いてくれる。避難所に広がる支援の輪が私にそう

教えてくれた。

4月13日、約1か月ぶりに仙台空港に旅客機が着陸した。そのニュースは多くの被災者に希望を与えてくれたに違いない。

「がんばろう日本」。今こそ一つになるとき。

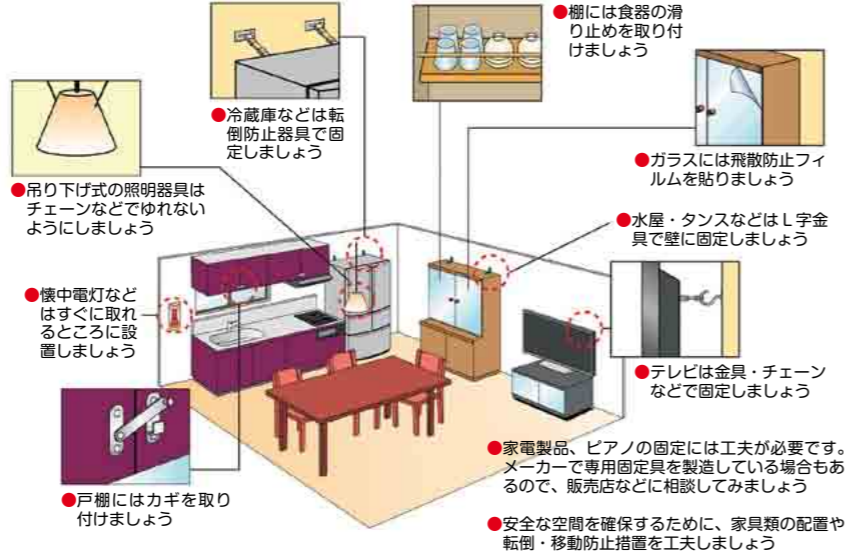


①避難者の健康状態を確認する青森県から派遣された保健師(写真左) ②避難者に少しでも安らぎをと音楽家がミニコンサートを開催 ③④避難所となっている体育館や文化会館にはたくさんの方が避難していた ⑤ボランティアの方の貝汁とから揚げの振る舞いに多くの避難者が並ぶ ⑥思い出が詰まったアルバムは、全てを流された被災者にとって大切なもの ⑦東北楽天ゴールデンイーグルスの選手が避難所を訪問 ⑧避難所に大きく書かれた文字。震災以降、頑張りが続く被災者にとっては救いの言葉となった ⑨ボランティアで避難者の髪を切ってくれる美容師 ⑩わたがしの振る舞いに子どもたちは大喜び ⑪被災者の移動手段にと提供されたのか、日本郵政公社と書かれた赤い自転車がたくさんあった ⑫被災した子ども同士、励ましあい仲良く遊んでいた ⑬避難所には捜索や無事を知らせる張り紙がたくさんあった。中には赤ちゃんを捜す張り紙も… ⑭自衛隊員が避難者に食事を提供 ⑮仮設住宅の建設が進む。しかし資材不足が心配されていた

地震への備えと心構え



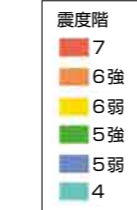
家具が凶器にならないようにしましょう



日頃の備えを心掛けましょう

実際に災害が発生したとき、家の中で、または外出先で、家族がそれぞれどのような行動をとるべきか、「家族の安全は家族全員で守る」ために年に一度は家族での防災対策を話し合い、次のことを確認しましょう。

- 家族の役割分担の確認
- 非常持ち出し品の準備と置き場所
- 地区で行われる防災訓練への参加
- 緊急避難場所と避難路の確認
- 家具の転倒防止など家の中の安全確保
- 緊急時にはどうやって連絡をとりあうか

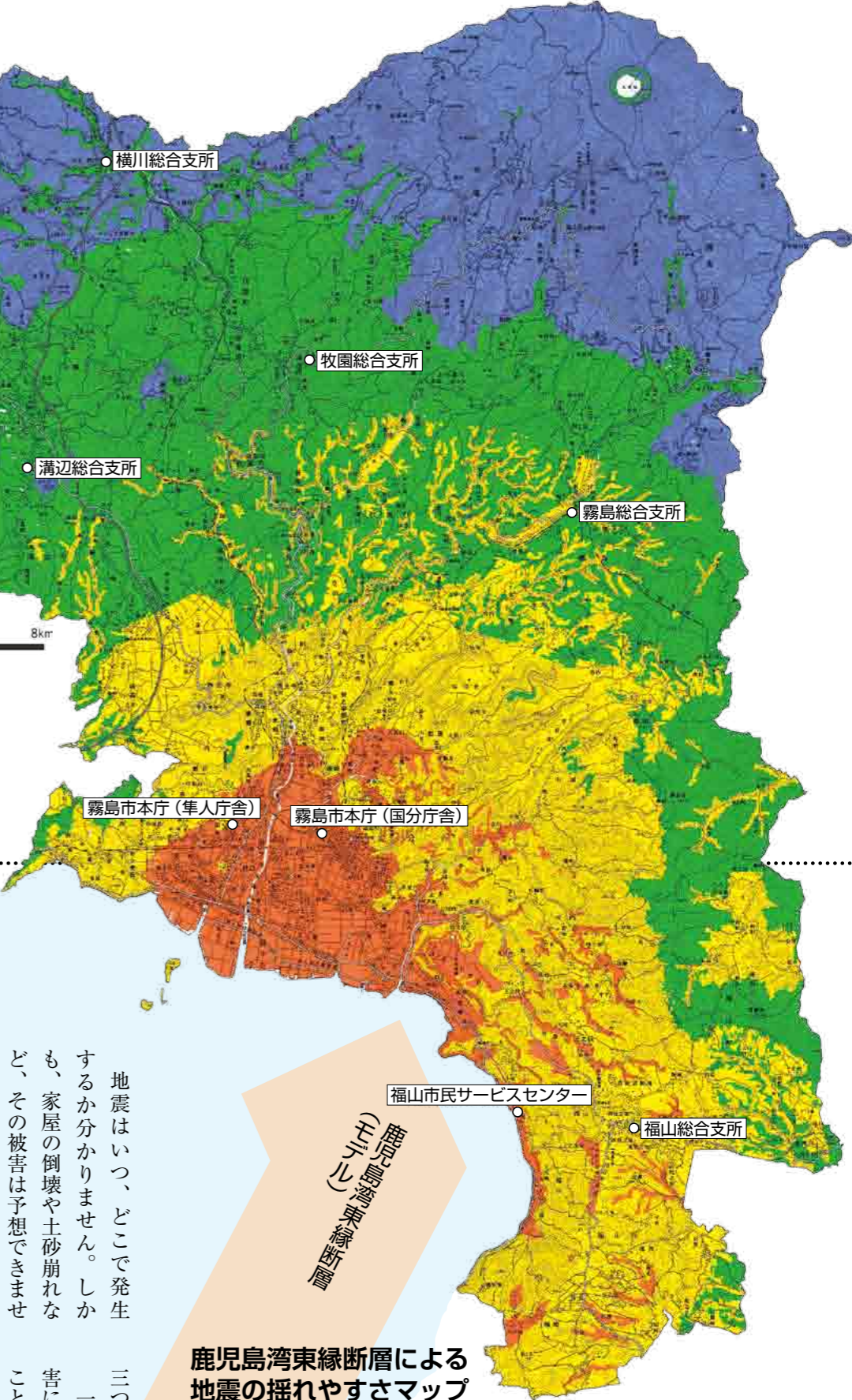


被災地から学ぶ 備えと心構え

災害への

要となるものを備えておくことが大切です。非常食に水、衣類、懐中電灯、ラジオ、貴重品など一時的に孤立しても対応できるような備えや、建物内の家具などの転倒防止の措置が必要です。

三つ目は情報です。4月7日午後11時39分、東北地方を最大余震が襲い、名取市は震度6強を観測しました。私は揺れが収まった後、建物から避難しましたが辺りは停電で情報が入らず、どこで発生したのか、避難した方がいいのかなど全然分かりませんでした。そんなとき一番の情報源



鹿児島湾東縁断層による地震の揺れやすさマップ

このマップは、今年市が作成した「地震防災マップ」に掲載してあるものです。マップには、市に大きな影響を与えると推定される2つの断層をモデルに、地震が発生した時の揺れやすさなどを掲載しています。しかし地震は、大きさだけでなく震源地との距離の違いでも揺れ方が大きくなったり小さくなったりします。また、直下型の地震はどこでも発生する可能性があり、想定以上の被害をもたらすこともあります。そのため揺れの大きさを予測することは難しく、このマップに掲載してある内容以上の揺れが発生することもあります。「地震防災マップ」は建築指導課または各総合支所で受けとるか、市のホームページでも見るすることができます。

地震はいつ、どこで発生するか分かりません。しかも、家屋の倒壊や土砂崩れなど、その被害は予想できません。東日本大震災では想定以上の津波が発生し、多くの人命を奪いました。地震から大切な命を守るにはどうしたらよいのでしょうか。東日本大震災から学ぶ

今回、被災地の現状を見て、

三つのことを強く感じました。一つは心構え。普段から災害に対して心構えをしておくことは大切なことです。名取市では地震で避難した避難所を津波が襲いました。さまざまなことを想定して災害の種類によってどこに避難するか、避難場所までの経路などを日ごろから決めておくことが必要です。二つ目は備え。災害時に必

がラジオ。そこから流れてくる情報で状況を把握し、落ち着くことができました。地震は大きな被害をもたらすし、多くの命を奪うことがあります。しかし、私たちの心掛け次第で、大切な命を守ることができると被災地であらためて学びました。皆さんの備えと心構えはできていますか。

● 補助金
● 耐震診断Ⅱ費用の2/3の額(限度額6万円)
● 耐震改修Ⅱ費用の23/100(限度額30万円)
● 補助対象棟数Ⅱ各5棟
● 申込期間Ⅱ5月23日(月)～11月30日(水)
◎ 問い合わせ先Ⅱ建築指導課 ☎(64)0954

● 補助金
● 耐震診断Ⅱ費用の2/3の額(限度額6万円)
● 耐震改修Ⅱ費用の23/100(限度額30万円)
● 補助対象棟数Ⅱ各5棟
● 申込期間Ⅱ5月23日(月)～11月30日(水)
◎ 問い合わせ先Ⅱ建築指導課 ☎(64)0954

- 対象者
● 木造住宅の居住者または所有者
- 借家人がいる場合は、耐震診断や耐震改修工事の同意を得ること
- 市税などの滞納がないこと
- 対象住宅
● 昭和56年5月31日以前に建築(着工)された専用住宅または併用住宅(過半の床面積が住宅の用途であること)で居住者がいること
- 地上3階建てまで

- 対象者
● 木造住宅の居住者または所有者
 - 借家人がいる場合は、耐震診断や耐震改修工事の同意を得ること
 - 市税などの滞納がないこと
 - 対象住宅
● 昭和56年5月31日以前に建築(着工)された専用住宅または併用住宅(過半の床面積が住宅の用途であること)で居住者がいること
 - 地上3階建てまで
- ◎ 問い合わせ先Ⅱ安心安全課 ☎(64)0997

INTERVIEW



始良おやじの会メンバー
山田久治さん（霧島在住）

山口さんから話を聞いて、始良おやじの会や知人に支援をお願いしました。まさか3日間でこんなに集まるとは思いませんでした。おやじの会では日ごろから、さまざまな活動をとおり地域との関わりを深めています。その成果もあって、短期間でこれだけの支援が集まったと思います。これからも私たちにできる支援を考えていきたいです。



福島県双葉町出身
斉藤武夫さん（福山町在住）

私は福島原発事故により、警戒区域になっている福島県双葉町の出身です。被災者を支援するために霧島市にいる福島県出身者3人で、「福島県人会」を発足しました。今回、山口さんが物資を送られると聞いて、「私にも何かできないか」と積み込みに参加しました。たくさん物資が集まっています、皆さんの思いが本当にうれしかったです。



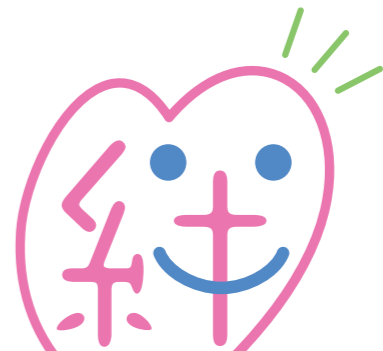
ニュースで知り参加
宇都善美さん・万寿子さんご夫婦（隼人町在住）

東日本大震災で苦しんでいる方たちの様子を見て、義援金などに協力していました。ニュースで山口さんが物資を届けることを知りました。山口さんと面識はありませんでしたが、「何かしたい」と思い米を物資として届け、積み込みに夫婦で参加しました。たくさん物資と積み込みへの協力者を見て、「人間捨てたもんじゃない」と感じました。

東日本大震災のニュースなどで、よく耳にしたのが「絆」という言葉です。震災に遭われた方が絶望感で心が折れそうなとき、それを支えたのは全国からの応援です。そこにはしっかりと「絆」が生まれていました。

人は一人では生きていけません。今回から「絆」にスポットを当て、共に生き、共に働き、共に助け合う「共生・共働・共助」の大切さをシリーズで考えます。

人は支え合いながら生きています



We are linked by a strong mind



福島へ向かう山口さんと満塩さん



山口さんに対するメッセージも寄せられた



物資を乗せて出発する山口さんたち

東日本大震災の被災地には、全国からたくさん支援物資が届けられています。霧島市からも多くの方が物資を送りました。中にはたくさんの方の絆で実現した支援もありました。

「始良おやじの会」に支援を呼び掛け、わずか3日間で約13トの水や食料、タオルなどの物資が集まりました。おやじの会の支援はそれだけではなく、トラックへの積み込みも手伝ってくれました。山口さんは「3日間でこんな

な物資が集まるとは思いませんでした。一人では今回の支援はできなかつた。皆さんの協力に感謝です」と話します。出発式でみんなに力強くあいさつしたあの言葉には感謝の思いが込められていました。福島県は想像以上に

した。放射線への恐怖、物資不足、避難所は大きな不安に包まれていました。「一度だけではだめだ」、現地の状況を知った山口さんは2度目の支援を決めます。4月18日、2度目の出発。今回も多くの方が支援してくれました。福島へは知人の満塩正信さん（溝辺町在住）が同行。物資はまた、おやじの会が中心となって集めてくれました。1回目と違ったのは、他からの支援。山口さんの活動をニュースで知った多くの方が県内各地から物資を届け、積み込みの手伝いにも多くの方が集まりました。

「物資を提供してくれる人がいる。積み込みを手伝ってくれる人がいる。そして私はトラックの運転ができる。一人ではできることに限界がありますが、それぞれができることを結集すれば大きな可能性が生まれる。今回の支援で、人と人とのつながりの大切さを実感しました」

山口さんが運転するトラックには「とどけ鹿児島の想い！霧島の心！」と書いてありました。荷台いっぱい積み込まれた物資にはたくさんのおおきな思いが込められています。まさに「鹿児島の絆」が生んだ支援。その思いは、山口さんによってしっかりと被災者の心に届けられました。

山口さんは、8月と11月にまた、被災地へと出発します。



2回目の積み込みに集まった皆さん。中にはニュースを見て駆け付けた山口さんと面識のない方も



物資にはたくさんコメントが書かれていた



朝8時から協力して積み込みをする皆さん

「皆さんの思いをしっかりと届けてきます」。支援物資の出発式で山口紀史さん（溝辺町在住）は力強く話しました。

3月28日、福島原発事故の影響で物資が届きにくくなっている福島県小野町へ向けて山口さんは支援物資を乗せて出発していきました。

きっかけは小野町の友人から物資が不足していることを聞いたことでした。「少しでも元気を送りたい」そう思った山口さんは自ら物資を届けることを決断します。しかしそこには、不安もありました。福島までの長距離運転、そしてたくさんの方の物資をどうやって集めるか。そんな不安を救ってくれたのは、たくさんの方の絆でした。

福島へは山口さんが経営する農機具会社の社員、濱田裕一さんが「一緒に行く」と手を挙げてくれました。物資は知人の山田久治さん（霧島在住）に相談したところ、山田さんが加入している霧島市・始良市・湧水町の小中学校に通う子どもの父親などにつく



白鵬関、 関平鉱泉水を届ける

大相撲の横綱白鵬関が4月9日、東日本大震災で被災した福島県の避難所に関平鉱泉水500箱(1万ℓ)などを届け、被災者を激励しました。白鵬関は霧島市の観光PRなどを務める「おじゃんせ霧島大使」の一人で、前田終止市長が「被災地の人々に元気や生きる勇氣、明日への希望を与えてもらい、一日も早い復興を願う霧島市民からのエールを届けてほしい」と依頼したものです。当日は石川町などの2施設をボランティアで慰問。声掛けや相撲をとるなどの交流もあり、避難所は久しぶりの笑顔と笑い声に包まれました。

またシステムも異なりましたが、今度からシステムが統一され迅速な情報伝達ができるようになります。本年度は国分地区で運用を開始、平成26年度までに全地区に整備します。



デジタル 防災行政無線開局

市のデジタル防災行政無線の開局式が4月15日、市役所で開かれました。合併前から溝辺町、横川町、福山町では整備されており、未整備地区との情報格差がありました。

式で前田終止市長は「1月には新燃岳が噴火した。災害時に情報は大切、まさかの時に速やかに情報をお知らせしていきたい」と話しました。



「六月燈の三姉妹」 で霧島市を応援

5月26日に霧島市民会館で上演される「六月燈の三姉妹」に出演する鹿児島県出身の俳優、西田聖志郎さんと重田千穂子さんが3月14日、市役所を訪れ芝居のテーマでもある家族の絆や地域再生について市長と対談しました。西田さんは単人地区に、重田さんは牧園地区と霧島地区に子どものころ住んでいたこともあり、霧島市への思いも人一倍。「セリフは鹿児島弁でみんなにも楽しんで見ていただける内容。新燃岳の噴火などで被害に遭われている皆さんにも舞台の上から元気を送るのでぜひ、舞台を見に来ていただきたい」と話しました。

おじゃんせ霧島大使でシンガーソングライターの辛島美登里さんとファンクラブのメンバー71人が霧島市を訪れました。辛島さんは毎年、ファンクラブのメンバーと旅行をしていますが、今年は新燃岳の噴火に伴い観光業への打撃の大きい霧島市に元気を送ろうと霧島の旅を決めました。市内の観光施設めぐり、藤まつりでにぎわう和気公園ではミニライブを開催。霧島の桜を見て作った「桜」や霧島高校の校歌を披露し、霧島の自然と音楽に酔いしれた観客からは大きな拍手が起こっていました。



全国各地から ファン霧島市に集う

おじゃんせ霧島大使でシンガーソングライターの辛島美登里さんとファンクラブのメンバー71人が霧島市を訪れました。辛島さんは毎年、ファンクラブのメンバーと旅行をしていますが、今年は新燃岳の噴火に伴い観光業への打撃の大きい霧島市に元気を送ろうと霧島の旅を決めました。市内の観光施設めぐり、藤まつりでにぎわう和気公園ではミニライブを開催。霧島の桜を見て作った「桜」や霧島高校の校歌を披露し、霧島の自然と音楽に酔いしれた観客からは大きな拍手が起こっていました。

おじゃんせ霧島大使でシンガーソングライターの辛島美登里さんとファンクラブのメンバー71人が霧島市を訪れました。辛島さんは毎年、ファンクラブのメンバーと旅行をしていますが、今年は新燃岳の噴火に伴い観光業への打撃の大きい霧島市に元気を送ろうと霧島の旅を決めました。市内の観光施設めぐり、藤まつりでにぎわう和気公園ではミニライブを開催。霧島の桜を見て作った「桜」や霧島高校の校歌を披露し、霧島の自然と音楽に酔いしれた観客からは大きな拍手が起こっていました。



6月と8月の2回、郡山地区自治公民館では郡田川を住民総出で清掃します

心癒やす景観 私たちの手で

きれいな川を未来に残す

霧島市河川景観保全里親制度(アダプト制度)推進事業に登録を

CIVIC NEWS

霧島市には全長約42・5^{km}、流域面積411平方^{km}の天降川など大小199の自然豊かな河川があります。その河川は私たちに多くの恵みを与え、その景観は人々の心を癒やします。

市内にある全河川の景観を将来にわたって保全していくことと平成23年度から「霧島市河川景観保全里親制度(アダプト制度)推進事業」が始まります。

アダプト制度では、河川の景観保全のための美化活動をする自治会やボランティア団体などと、市が連携して共生・協働のまちづくりを目指します。

登録方法

登録できる団体は、企業などの法人や5人以上で構成される地区自治公民館、自治会、漁業協同組合、老人クラブ、PTA、その他活動を継続できる市民活動団体です。

活動内容は河川堤防の草払い(年2回以上)や河川堤防のポイ捨てごみの収集・処分(年2回以上)、河川堤防の不

回草刈りをしていました。年2回するようになったのは10年ほど前からです。草が勢いよく生え始める6月と、子どもたちが新学期を迎え気持ちよく登校してほしくて8月の下旬に住民総出で実施しています。

草が生い茂っているところほど多くのごみが捨てられているようです。整地した河川敷の延長は23^{km}で約9・2^{km}のごみが不法投棄され、雑草で覆われた河川敷には空き缶やビニール袋はもろろん、タイヤ、自転車、ラジオ、テレビ、バイク、浴槽などさまざまな物が捨てられています。

法投棄ごみや堤防の破損などの情報提供です。市からの支援は活動支援金の交付(伐採面積が600平方^mあたり3万円で加算交付があります)や市民総合補償保険と市民活動総合補償保険の適用、登録団体名の表示看板の設置、刈草の収集などです。

対象となる河川は市・県・国の管理する河川で、堤防のり面の草払いなどが必要な河川堤防です。

自然の中に隠されたごみ

昨年度、市では天降川、手籠川、郡田川の河川敷のアシなど雑草や竹の除去をし、きれいに整地しました。

草が生い茂っているところほど多くのごみが捨てられているようです。

整地した河川敷の延長は23^{km}で約9・2^{km}のごみが不法投棄され、雑草で覆われた河川敷には空き缶やビニール袋はもろろん、タイヤ、自転車、ラジオ、テレビ、バイク、浴槽などさまざまな物が捨てられています。

8月は大人に交じって小学生が空き缶を拾い、中学生は公民館の掃除をするなど分担して子どもから大人まで一緒に清掃作業をしています。

郡山地区自治公民館長

飯牟禮勇さん(70)



地域をまとめる力に

台明寺溪谷へと向かう郡田川の両岸に広がる国分の郡山地区自治公民館。自治会数は宇都良、永田、辻、辻松山、台明寺、天神台、グリーンヒル郡田、宮ノ前、ゆうゆうタウン、つつじヶ丘の10自治会。会員数は約750世帯で93[%]、約700世帯が自治会に加入しています。新興住宅地で約400世帯が移り住んできました。

同公民館では毎年6月と8月の2回、河川敷を約700人の住民で草刈りします。その距離、約4^{km}。

郡山地区自治公民館長の飯牟禮勇さんは「草刈りをせずにアシが伸びると向こう岸も見えなくなるほどで、防犯の面からも20数年前から年に1

「アダプト制度に登録する団体が増え、河川敷がきれいになり心癒やされる景観になるといいですね」と飯牟禮館長はこの制度に期待を寄せています。

● 申込期間 5月20日(金)～6月30日(木)
◎ 問い合わせ 環境政策課環境保全グループ ☎(64)0950

一年生から六年生まで仲のいい学校

国分南小学校
自然学習

自然と触れあうことで成長する児童

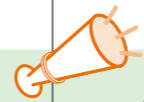


異年齢活動の一つとして、一年生から六年生まで、みんなで登校する児童

昭和50年4月1日に国分東小、敷根小、下井小、上之段小が統合され誕生した国分南小学校は、縄文の森のある山や下井海岸のある海など豊かな自然に囲まれ、現在458人（男子256人、女子202人）の児童が学んでいます。「共によく学びよく遊べ」を校訓に、感性豊かで活力みなぎる子どもを育てることを学校の目標に掲げています。近頃は交通量が多いため、登下校時に上級生が下級生を送り迎えするなど自主的な活動を行っており、ここ3年間事故は起きていません。

自然に学ぶ

昨年5月から5月上旬に「初夏の下井海岸遠足」を始めました。6年生が1年生を5年生が2年生を4年生が3年生を連れて歩き道路の清掃をしながら下井海岸に向かいます。この時期の海岸は潮の満ち引きが一番大きく、干潮時には貝堀りや生物採取などを体験。また最後には海岸のごみ拾いをして帰ります。遠足の狙いは、自然と触れ合うこと



◎国分南小学校 6年
谷口雪奈さん



去年の5月に全校生徒で下井海岸に遠足に行き、こんな身近なところにきれいな貝や魚がいることにびっくりし感動しました。下井海岸へ行く途中の道路や海にごみが多すぎたことに気づき胸が痛みました。霧島市の豊かな自然を守るためには、みんなで協力し合い、ごみを少しずつでも減らしていくことが大切です。このような活動を続けていけば、もっときれいな海や山などを見ることができ、楽しみも増えると思います。学校生活の中でも、ごみのないきれいな学校にしていきたいです。

で郷土の自然を大切に思う気持ちを養い、海岸の清掃を通じて、地域の環境を大切にすることが大切です。この遠足で霧島市には素晴らしい大自然があるというのを再発見し、環境に興味を持ってもらいたい。」と話していました。



「知」の博物館 国分図書館

国分図書館は市役所（国分シビックセンター）の1階にあります。全国に先駆け公共図書館としては珍しく、午後9時まで開館しています。蔵書は約22万冊。雑誌は週刊誌や月刊誌など合わせて56誌。新聞は主な全国紙と地方紙、英字新聞なども揃えています。ほとんどの雑誌や新聞は3年間保存しており、「南日本新聞」については昭和42年から保存しています。電話帳については全国ものが閲覧でき、県内では県立図書館、鹿児島市立図書館、国分図書館のみです。図書館の出入り口には毎月テーマに沿った本やタイムリーな事柄の本の展示も行っていきます。



出入り口には月ごとにテーマに沿った図書を紹介



開放的な中庭はぜひいたく気分を味わえます

カフェテラスのような中庭では、季節の花々に囲まれながら読書を楽しむことができ、バリアフリーの館内は車椅子の方やベビーカーも自由に入ることができます。どうぞ、家族みんなで立ち寄りください。

ページをめくるのは5月の風かしら

霧島市立図書館に おいでください。

霧島市7か所の図書館(室)で本が借りられます。

- 【① 開館時間 ② 休館日】
- 国分図書館** / ☎64-0918
① 9:30~21:00
② 12月29日~1月3日
特別整理期間/6月中の10日間
- 隼人図書館** / ☎43-7574
① 平日/10:00~19:00
土・日・祝日/9:00~17:00
② 月曜日
12月29日~1月3日
特別整理期間/12月中10日以内
- 溝辺図書室** / ☎58-3191
① 8:30~19:00
② 12月29日~1月3日
- 横川図書室** / ☎72-1596
① 9:00~17:00
② 月曜日・祝日
12月29日~1月3日
- 牧園図書室** / ☎78-3349
① 8:30~19:00
② 月曜日
12月29日~1月3日
- 霧島図書室** / ☎57-0316
① 月・水・金/8:30~17:00
火・木・土/8:30~20:00
② 日曜日・祝日
12月29日~1月3日
- 福山図書室** / ☎56-2026
① 8:30~17:00
② 土・日曜日・祝日
12月29日~1月3日



いのちのいれもの

堀川 真作

旭山動物園のアムールトラのイチが病気で死んでしまいました。悲しむトコちゃんに園長さんは…。動物たちが教えてくれたいのちをつなげていくということは？家族みんなで読みたい絵本。

【さらば銀行の光】江上 剛、【ナニワ・モンスター】海堂 尊、【先生の隠しごと 僕僕先生】仁木英之、【源内なかま講】高橋克彦、【やんちゃな時代】林真理子、【キミは知らない】大崎 梢、【無花果の森】小池真理子、【1、2、3ですぐかわいらす】イシグロフミカ、【おいしい手作り保存食】石澤清美、【いちばんわかりやすいミシンの基礎】野木陽子、【おじいちゃんちの たうえ】さこもみ、【これは本】レイン・スミス、【怪盗ブラックの宝物】那須正幹、【地をほう風のように】高橋秀雄

イベント名	日 時(対 象)	場 所
ほととの森おはなし会	5月14日(土)・28日(土)、6月11日(土) 14:00~14:30	国分図書館
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	6月4日(土) 10:30~11:30	
赤ちゃんとわらべうた・えほんのへや(りんごの木)	6月6日(月) 10:30~11:00	
おはなしの部屋	5月15日(日)・6月19日(日) 11:00~11:30(幼児・小学生) 6月2日(木) 16:00~16:30(幼児) 6月3日(金) 11:00~11:30(赤ちゃん)	隼人図書館
語りの部屋(語りの会あもり)	6月12日(日) 11:00~11:40(5歳くらい~大人)	横川図書室
おはなし会(おはなしの会さんぽ道)	5月21日(土)、6月18日(土) 14:00~15:00	
おはなしの時間(紙ふうせん)	5月16日(月)、6月20日(月) 15:30~16:30	霧島図書室
えほん・わらべうたのへや(紙ふうせん)	6月8日(水) 10:30~11:30	福山図書室
おはなし広場	5月28日(土)、6月25日(土) 10:00~11:30	

食

霧島の風味を楽しみませんか。

色白、もち肌の頬がほんのり赤く色づく。そんな姿を思わせる愛らしいお菓子、「お千代まんじゅう」。国分清水地区で戦前まで作られていた白く小さなまんじゅうで、食紅で色を付けたもち米がそと飾られています。

戦後、物資不足から作られなくなり途絶えていたこのまんじゅうですが、清水地区の人々が復活に向けて取り組んでいきます。きっかけは国分郷土誌でした。二年前、自治公民館の活動で地元の歴史を調べていたとき、地区の文化部長を務める池田三夫さんが「清水名物お千代まんじゅう」と書かれているのを発見。歴史を掘り起こし、地域の活性化につながればと手探りで活動が始まりました。

「郷土誌には詳しいことが書かれていなかったのですが、昔からこの地域に住む80歳以上のの人々に聞き取り調査をしました。お千代」とは実在した人物の名前

楕円形で両側をくぼませ、赤いもち米が飾られます



白くてもちもち 昔なつかし、 素朴な味



で三代国分市長、故・古江正さんの母親。当時はこの地区の名物として売られていたようです。味や形についてはいろいろ意見がありましたが、より近いものに再現できたのでは」と池田さんは言います。

まんじゅう作りには同地区の富田恵子さんから女性メンバーが取り組みました。普通はもち米を蒸して皮を作りますが、もち粉と電子レンジを使うなど誰でも手軽に作れる簡単レシピも紹介しています。

同公民館の徳重洋一館長は「当時を知る人は80歳以上。ぎりぎりの復活劇。公民館では今後伝統を守り伝え、地域に根差した清水名物として広めていきたい」と話しました。

◎国分清水地区

まんじゅう作りに取り組む女性メンバー

(写真後列左から山口涼子さん、真方フジさん、迫田美智子さん、上敷領磯子さん、前列左から永井宣代さん、富田恵子さん、迫田ヒロ子さん)



簡単レシピ

【材料】(20~25個分)
もち粉300g、砂糖240g、水360cc、塩少々(2つまみ)、あん400~500g、もち米少々、食紅少々、片栗粉適量

【作り方】

- ①もち粉、砂糖、水、塩を合わせ、耐熱容器に入れラップをして電子レンジで約6分加熱する。
- ②①を片栗粉をひいたまな板などの上に出し、1個ずつ(約30g)手で切り分け、あん(約20g)を包む。
- ③楕円形に整え、両側をくぼませ、食紅で色を付けたもち米を2粒飾る。

EVENTS

環境情報

祝! 日本ジオパーク認定



日本の霧島から世界の霧島へ

ジオパーク 発掘調査隊

曾於市の「大川原峡」と曾於郡で一番高い「白鹿岳」を紹介します。

九州新幹線が全線開業し、日豊本線が通る曾於市は大隅半島の北の玄関口としての役割が高まってきている地域です。

その大隅大川原駅から下流



大川原温泉



白鹿岳森林公園

部3にわたる大川原峡は、大川原峡キャンプ場をはじめ、悠久の森、曾於八景の一つである桐原の滝や三連轟の滝など自然に恵まれた地域です。大川原峡の河川に見られる約34万年前におきた加久藤火砕流によりできた溶結凝灰岩は、自然に洗掘された造形美が見られる大小の滝と罅穴や水遊びや魚釣りができる穴場がたくさんあり、貴重な自然体験ができる場所となっています。本市には曾於郡で一番高い白鹿岳があり、麓は百武彗星が発見されたことでも有名です。白鹿岳から望む眺めは、北は霧島山、南西は桜島と錦江湾、鹿児島市が一望できる所でもあることから、フォレストアムニティ整備事業を活用し、平成12~13年度にかけて、展望台、天体観測デッキなどを設置した白鹿岳森林公園を整備。大パノラマが望めることから来場者も多く今後の利活用が期待されます。

◎問い合わせ先 曾於市財部 支所産業振興課 ☎0986(72)0938

ジオパーク 発掘調査隊

小林市の奇石「陰陽石」を紹介いたします。

全国的に珍しい陰陽石

浜の瀬川の上流部に高さ17・5mの男岩と周囲5・5mの女岩からなる陰陽石があります。川の流れが霧島の噴火で堆積してできた溶結凝灰岩を削ってできた自然の造形物といわれ、男岩と女岩が同じ場所にあるのは全国でも珍しいことで有名です。

特別な自然の意思が働かなければ、できそうにないと感じてしまうほど。その見事な造形は生産や繁栄への信仰を生み、古くから子宝の神として祭られてきました。

市内周辺には生産の神である田の神像がいたるところにあります。陰陽石のそばに宮崎県最古とされる

宮崎観光遺産

田の神像があることから繁栄を願う祈りと無縁ではないのかもしれません。

宮崎県では平成21年に、秘められた魅力を掘り起こし新たな観光地づくりを目指すため「宮崎観光遺産」を選定されました。他には延岡市の「チキン南蛮」や宮崎市の「大根やぐら」などがあります。浜の瀬川にそびえる生産と和合の象徴「陰陽石」。この存在を知らない方を連れて行ってみませんか。一見の価値があります。

◎問い合わせ先 小林市総務部 総合政策課 ☎0984(23)0456



陰陽石

*「ジオパーク発掘調査隊」は、霧島ジオパーク推進連絡協議会に加盟している霧島市、曾於市、宮崎県高崎市、小林市、えびの市、高原町の5市1町の広報紙に掲載しています。



「私の作った野菜で、たくさんの人に元気を届けたい」。青々とした野菜畑の中、笑顔で夢を語る岩戸幸子さんは、就農を目指し昨年10月から農業の勉強をしています。

専門学校卒業後、医療事務の仕事に就いた幸子さん。病院で医者が患者さんに食の大切さを話す場面をよく見かけたといいます。「少しずつ食への関心が高まり、『食に携わる仕事をした』と思うようになりました。栄養士の道も考えましたが、もっと根本的なところで食に関わりたと思ったことと昔から農業に興味があったことから農業をしたいという気持ちが大きくなっていききました。そして昨年9月、期待と不安を抱きつつ、13年間勤めた病院を辞めました。

とはいえ、どうやって農業を始めたらいいいのか全く分からなかった幸子さんは、インターネットで調べ、始良・伊佐地域振興局に新規就農相談所があることを知ります。相談に行くと、国の補助事業で給料をもらいながら農業の勉強ができる研修制度があることを教えられました。研修先は国分にある株式会社エコ・スマイル（社長・並松秋水さん）。自然農法にこだわり、2年以上農薬や化学肥料などを使用せず、堆肥などによる土作りをした畑で作ら

人の風景

THE SCENE

霧島に生きる

れる旬の有機野菜のみを生産、販売している会社です。

「半年間の研修を受けました。農業を知らない私に、並松社長が知識や技術を一から教えてくださいました。有機野菜作りは根気のいる仕事ですが、自然環境や生態系と調和した昔ながらの農法で作られる野菜は人の健康につながることを学びました。初めて自分で植えたホウレンソウが芽を出した時のうれしさは忘れられません。取れたののホウレンソウや大根を試食すると、甘味があつて今まで食べたどの野菜よりもおいしく感じました。社長は「農業は野菜を育てることではない。野菜が自ら成長していくのを手助けすること」と言います。まさに自らの力で育った野菜のうま味だと思いました」

野菜の成長と一緒に、もう一つ育まれているものがあります。幸子さんが研修を始めた時の名字は永山でした。同じ研修生の岩戸秀樹さんと3月に結婚。農業という共通の夢もたらした出会いでした。現在、研修を終えた幸子さんはエコ・スマイルで働いています。そして来年、秀樹さんの研修が終わったら二人は独立します。

「激動の半年間でした。長年続けた仕事を辞めるのは勇気がいったし、夢にかけることに不安もありました。それでも踏み出した最初の一步。これが



農業の研修に取り組む岩戸さん夫婦

私の人生を大きく変えました。ここで学んだことを大切に、二人で昔ながらの農業に取り組んでいきたいです。自然の中で働き、自然のものを口にしていたこの半年は、風邪もひかずに健康的に過ごせました。食は命の源です。安心安全でおいしい有機野菜をみんなに食べてほしい」

静かな口調の中を感じる確かな決意。霧島の豊かな大地で、自然の恵み存分に受けて育った岩戸さん夫婦の野菜が、家庭に届けられるのはそう遠くない未来かもしれません。

夢にかける思い
安心安全な食を届けたい



Profile

岩戸幸子さん (34)

国分郡田出身。国分中央高校、専門学校卒業後、市内の病院で医療事務の仕事に就く。昨年10月から半年間、農業の研修を受け、同じ研修生の岩戸秀樹さんと3月に結婚。現在もエコ・スマイルで勉強しながら農業に取り組んでいる。





石造の近代化遺産

市内には数多くの石造の文化財があります。二〇〇四年に刊行された「鹿児島県の近代化遺産」という本には、近代に造られたさまざまな文化財が掲載されています。中でも石で造られたものが数多く紹介されています。

やはり石は丈夫で長持ちするので、長い年月を経て現在まで使用されているものも少なくありません。しかし、近代化遺産は文字どおり機械などない時代に造られており、当時の人々の苦勞を思うと先人に敬意を表さなければなりません。現在も使用できるという点から考えても大切にしなければという思いが湧いてきます。

護・保存していくという制度です。現在、市内には9件の登録有形文化財があります。さて、近代化に関するものは多岐にわたります。山ヶ野金山関連遺構は

ちろんのこと、農業・商業の倉庫や鉄道の施設、石橋、コンクリート橋など数多くあります。今回は石造の近代化遺産の一部を紹介したいと思います。

横川町中ノに宮之城から横川・牧園を結ぶ旧街道（現県道）の天降川に架けられた一連アーチ橋があります。片白橋です。明治二十五（一八九二）年に架けられたといわれています。

隼人町野久美田の清水川に架かる一連アーチ橋があります。野久美田橋です。明治四年に架けられました。旧街道に架けられましたが、規模はあまり大きくありません。鹿児島と大隅、日向を結ぶ交通の要衝であったと考えられます。今は国道10号沿いにあります。牧園町三休堂の飯富神社前に架かっている石橋は宮之橋といつて、明治七年に造られたようです。飯富神社の参道のために建設されたそうですから、昔から多くの参拝者がいたのでしょう。

今回は3件だけ紹介しましたが、このほかに石橋はたくさんあります。石橋だけではなく、コンクリート橋も立派なものがあります。霧島田口の神宮橋は昭和十三（一九三八）年に架けられました。構造は、寺社建築の組物などをコンクリートで表現し、デザインの優れた橋です。現在でもほぼ当時の姿をとどめています。隼人町と牧園町の境にある安楽橋は、昭和四年頃に架けられました。現在の国道223号に使われている橋ができる前に使用されていた橋なので、国道の交通を支えたとても優れた橋です。オープンアーチで洪水でも流されにくく、現在は旧道にあり自動車の通行も少ないため残せる橋の一つではないでしょうか。

鉄道関係の近代化遺産といえば、JR肥薩線の嘉例川駅舎と大隅横川駅舎を思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし、駅舎の他にも暗渠や橋梁、隧道なども大切な遺産です。肥薩線のトンネルでは羽根原・五月田・内道などがあります。いずれも切石とレンガ積みです。明治三十五年に造られました。日豊本線のトンネルでは、岩戸・隼人・小鹿野・黒ヶ迫・大窪が昭和五年、狩川は昭和七年に造られました。隼人・財部間は昭和二年から七年頃

敷設されました。しかし当時は昭和恐慌など不安定な国内の情勢であったため、これまでの石やレンガなどは使用せず、費用を安くおさえられるコンクリートで造られています。文化財は江戸時代以前のものだけではなくありません。明治以降、日本の近代化に伴って建てられたものや造られたものが数多くあります。今回紹介したのはほんの一部です。すでに失われてしまったものもあります。残っているものもたくさんあります。これから大切にしていきたいですね。

文責 文責

第1回市内史跡めぐり「きりしま歴史散歩」参加者募集

- 日時=5月28日(土) 午前9時30分～12時(小雨決行)
- 集合場所=大隅国分寺跡駐車場
- 受付時間=午前9時～9時30分
- 対象者=小学生以上
- 参加・資料費=300円(当日持参ください。)
- 見学場所=大隅国分寺跡・遠寿寺跡・舞鶴城跡・金剛寺跡・城山・搦手門など
- 申込方法=直接または電話でお申し込みください。
- 申込期間=5月9日(月)～27日(金)
- ◎☎☎=文化振興課文化財グループ ☎(42) 1119

食事のバランス

やさしい健康講座



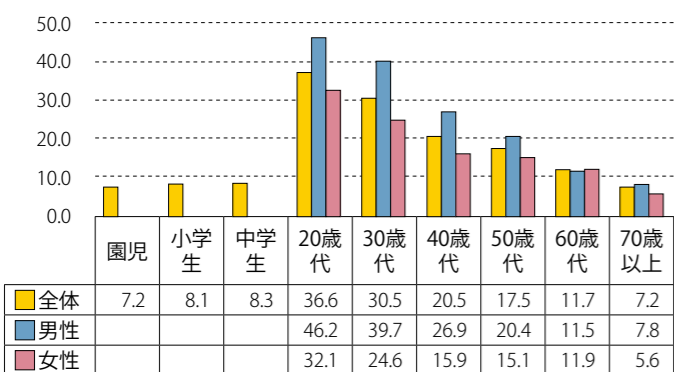
健康増進課
徳重 利恵子

朝食をきちんと食べていますか？

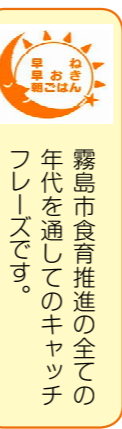
若い世代が朝食を食べない「欠食」が問題になっています。霧島市でも左の表のように特に20代、30代の若い世代で朝食を食べない「欠食率」が高くなっています。朝食を取らないと体や脳はエネルギー不足となり、ものごと集中できない、疲れやすい、昼食や夕食を食べすぎる、体脂肪をためやすくなるなどの悪影響を及ぼします。

朝食を食べない方ですぐに一食分を食べるのが難しい場合は、まずはおにぎり一個から、または牛乳や野菜ジュ

朝食の欠食率 ※園児・小学生・中学生は平成22年度データ ※20歳代から70歳以上は平成21年度データ



ユースなどの飲み物やバナナやミカンなどの果物からはじめてみたらどうでしょうか。朝食が食べなくなる環境づくりも大切です。遅い夕食や夜食、夜ふかしを続けていると朝に食欲がないのは当然です。夜は9時ごろまでには夕食をすませ、早寝・早起きを実践して朝食を食べるように心がけてみましょう。



コマの形で食べると、バランスのよい食事に！

朝食の欠食だけでなく、食事バランスの乱れによる肥満や痩せすぎ、生活習慣病の増加も問題になっています。そのため、食事バランスのとれた日本型食生活が見直されています。

日本型食生活とは、主食・主菜・副菜のそろった献立形式のことです。食事バランスが乱れている方は、日本型食生活の献立形式で食事を取るとバランスのよい食事になります。そしてこの献立形式をもとに、「何を」「どれだけ」食べたらよいかの目安を「コマ」の形で表したものが『食事バランスガイド』になります。

コマの形は右下の表のように、5つのグループに分かれており、上から下



にいくほど小さくなります。「主食と副菜をしっかりと取って主菜は副菜よりも少なめに、牛乳・乳製品と果物も忘れずに取る」ということを表しています。年齢に応じてどれくらい取ったらよいかは、きりしま版食事バランスガイドに詳しく載っていますのでご利用ください。(きりしま版食事バランスガイドは市のホームページでも紹介しています)

疲れやすい、集中できない、太りすぎ、痩せすぎ、胃が痛い、便秘ぎみなど体に不調を感じている方は、「早寝・早起き・朝ごはん」と「食事のバランス」をもう一度見直してみたいかがでしょうか。

◎問い合わせ先 健康増進課 ☎(64) 905

Move

移住定住促進補助金制度

市では、移住定住を促進するため、移住者を支援する制度を設けています。

平成20年4月1日から平成25年3月31日までに、市の中山間地域（国分・隼人の市街地を除く区域、国分・隼人でも一部対象区域があります）に住宅を新築、購入または増改築した市外からの転入者に対し、補助金を交付します。また、当初申請時に中学生以下の子どもがいれば、1人当

たり20万円が加算されます。この補助金の交付を受けようとする方は、「住宅取得日」または「増改築完成日」から起算して1年以内に、「霧島市移住定住促進補助金当初交付申請書」に関係書類を添えて、共生協働推進課に提出してください。

●補助対象者

補助金の交付を受けることができるのは、「市外から定住の意思をもって、平成20年4月1日以後に本市に転入し、市民登録した方」および「か

つて、本市に市民登録があり、市外に5年以上転出後、定住の意思をもって、平成20年4月1日以後に再び本市に転入し、市民登録した方」の世帯責任者で、次の①～⑤のいずれにも該当する方です。（ただし、国庫補助金などにより住宅を新築、購入または所有する住宅の増改築をした方は除きます）

①平成20年4月1日以後に補助対象区域に住宅を新築、購入または所有する住宅の増改築をした方

②前文①の住宅に引き続き5年以上居住する意思があり、生活の本拠がある方

③転入日において65歳未満の方

④居住地の自治会に加入した方

⑤市区町村民税に滞納がない方（過去3年分）

※世帯責任者とは、「主として世帯の生計を維持している」または「住宅取得、増改築に係る経費を多く負担している」と市長が認める方のことをいいます。

移住希望者をご存知の方は、本支援制度を紹介していただき、ぜひ、本市への移住をお勧めくださるようお願いいたします。

なお、該当者となるには、その他にも満たさなければならぬ要件がありますので、制度や申請手続きなどの詳しい内容については、ご相談、お問い合わせください。

◎問い合わせ先 共生協働推進課おしやんせ霧島移住定住推進室 ☎(64)0988

霧島市の人権擁護委員、行政相談委員を紹介しす

●人権擁護委員（敬称略）

- ・国分 川畑和子、岩下彰、漆木ミエ、山下佐和子、石塚義人
- ・溝辺 野元耕一、剥岩裕
- ・横川 山下弘文
- ・牧園 古川正利
- ・霧島 中神実
- ・隼人 下玉利守、居細工學、井上嘉知子、福丸育美
- ・福山 久木田さくみ

〔6月1日は人権擁護委員の日〕

戦後、国民の基本的人権の尊重を基調とした日本国憲法が制定されました。昭和23年、政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、昭和24年6月1日に人権擁護委員法が施行されました。これにより、全国人権擁護委員連合会は、法の施行日である6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、全国一斉に特設人権相談所を開設します。相談は無料で秘密は固く守られます。

【全国一斉特設人権相談】
開設日時 6月1日（水）
午前10時～午後3時
開設場所 国分総合福祉センター、溝辺総合支所、横川健康温泉センター、牧園老人福祉センター、霧島総合支所、隼人庁舎、福山公民館（牧之原）

◎問い合わせ先 鹿兒島地方 法務局霧島支局 ☎(45)0064
●行政相談委員
行政相談委員は行政相談委員法に基づき、総務大臣から

地区	氏名(敬称略)	住所(大字)	電話
国分	川畑 巧	国分上之段	48-2662
	柳田 秀徳	国分名波町	47-1394
溝辺	岩切 正信	溝辺町竹子	59-2803
横川	本村 豊隆	横川町上ノ	73-2741
牧園	山口 健一	牧園町宿窪田	76-0456
霧島	宮田 昌男	霧島田口	57-1048
隼人	勝間 昭	隼人町姫城一丁目	43-4008
福山	篠原 市呂	福山町福山	56-1745

委嘱を受けた委員です。国の役所などに対する苦情、要望相談ごとをお聴きして、その解決や実現を図る皆さんの身近な相談窓口です。各地区の行政相談委員が電話で相談に応じています。また、定例行政相談会で直接相談することもできます（相談会の日程は随時広報誌でお知らせします）。相談は無料で秘密は固く守られます。
◎問い合わせ先 秘書広報課 広報広聴グループ ☎(64)0955

今後5年間の新たな計画を策定しました

社会情勢が激変し、今後も厳しい財政状況が予想される現在、持続可能な確固とした行政財政構造を確立するために、これまで以上に行政能力の向上と行政改革への積極的な取り組みが必要であることから、今後5年間の新たな計画を策定しました。

①行政改革大綱（第2次）

これまでの行政改革大綱の基本方針を継承しつつ、現状

に即した見直しを行いました。【基本方針】

- ・市の担うべき役割の重点化
- ・行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織・機構
- ・将来にわたり持続可能な健全財政の確立

②集中改革プラン（第2次）

行政改革大綱の基本方針を実行するため、集中的に取り組むべきものを54項目掲載しました。項目については、毎年、取り組み成果を検証し、必要に応じ見直しなどを行う

とともに、新たに生じた課題解決の取り組みについても随時、追加します。

③経営健全化計画（第2次）

今後の歳入の推移や財政需要の見込みを踏まえ、適正な予算規模や自主財源の安定確保に取り組み、歳入に見合った歳出構造の再構築を図りながら、持続可能な健全財政を

【重点事項】

- ・市債残高の縮減
- ・基金の涵養
- ・予算規模の適正化

④定員適正化計画（第2次）

健全な行政運営を行うためには、さらに人件費の縮減が必要であることから、今後も職員数の削減に取り組みます。他自治体の状況や合併時に策定した新市まちづくり計画なども踏まえ、平成28年4月1日の職員数の目標を、平成23年4月1日から86人減の1132人としました。

⑤組織機構再編計画（第2次）

限られた職員数で効果的・効率的な行政運営を行うために、事務所の形態を「総合支

所・分庁方式」から「本庁方式」へと移行します。生活に直結する部分の窓口は、現在の各庁舎で維持し、本庁は、市全体を担う政策組織としての機能をさらに高めていきます。

※計画は、市ホームページまたは情報公開室でご覧いただけます。

◎問い合わせ先 ①②④⑤については行政改革推進課 ☎(64)0952、③については財務課 ☎(64)0917

Traffic

県道都城隼人線の災害復旧工事の進捗状況について

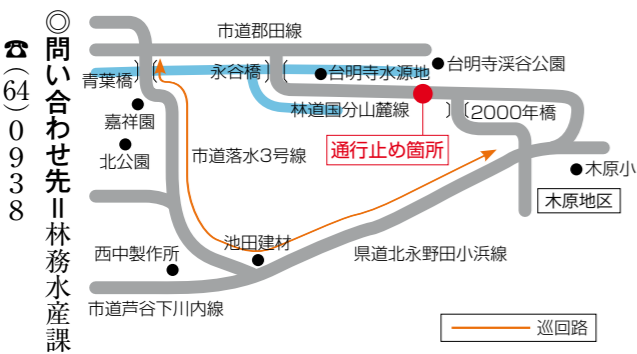
県道都城隼人線の関之坂（国分重久）の災害復旧工事については、早期復旧に向けて工事を進めています。進捗状況は平成23年3月末時点でおおむね3割で、秋ごろの交通開放を目標としています。現在も交通止めとなっており、道路利用者の皆さまにはご不便をおかけしていますが、今後も市の広報誌などを通じて工事進捗などをお知



林道国分山麓線の通行制限について

台明寺から木原に伸びる林道国分山麓線は道路工事のため終日全面通行止めとなっています。安全な道路づくりのため、ご理解、ご協力をお願いします。

期間 10月20日（木）まで





市からのお知らせや
募集などの
情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※問=問い合わせ先 申=申し込み先

お知らせ

離職された方へ 国民健康保険税が軽減されます

倒産・解雇などにより離職し、ハローワークで失業などの給付手続きをした場合、申請すると前年中の給与所得の3割を所得とみなして算定し、保険税が軽減される場合があります。

- 対象者=雇用保険の特定受給資格者、雇用保険の特定理由離職者(平成21年3月31日以降に離職した方のみ)
- 軽減対象期間=離職の翌日から翌年度末までの国民健康保険加入期間(平成21年度以前は除く)
- 申請に必要なもの=雇用保険受給資格者証、印鑑

問・申=税務課市民税グループ☎(64)0884、各総合支所地域振興課(隼人庁舎は除く)

固定資産税・都市計画税について

5月31日は、固定資産税・都市計画税の第1期納期限です。納め忘れのないようお願いします。納税通知書が届きましたら、同封の課税明細書にて所有する資産(土地・家屋)の記載漏れなどがないか、十分ご確認ください。

納税管理人、相続人代表者などの変更をする場合は、本庁、各総合支所担当課、福山市民サービスセンターに所定の用紙がありますので手続きをお願いします。

【納期限】

- 第1期=平成23年5月31日(火)
- 第2期=平成23年8月1日(月)
- 第3期=平成23年12月28日(水)
- 第4期=平成24年2月29日(水)

問=税務課固定資産税グループ☎(64)0885、各総合支所地域振興課(隼人庁舎は除く)

緊急通報装置整備事業をご存知ですか

緊急通報装置のボタンを押すことで、24時間体制のコールセンターが救急時などの適切な対応や日常生活相談、安否確認を行い、利用者が安心して暮らせるよう支援します。

- 対象者=市内在住のおおむね75歳以上の一人暮らし高齢者世帯などで、近隣に親族がいない場合など装

置の設置が必要であると思われる世帯(心身の状況を踏まえ、地域ケア会議の意見をもとに設置します)
※条件によっては対象外の方でも認められる場合がありますので、問い合わせください。

- 月額利用料=500～1,200円(所得に応じて設定)

問・申=長寿・障害福祉課☎(64)0995、隼人福祉課、各総合支所市民福祉課

国立公園管理事務所を廃止

牧園総合支所内の霧島屋久国立公園管理事務所は3月31日で廃止となりました。4月以降は県庁自然保護課自然公園係で業務を行います。

問=県庁自然保護課☎099(286)2617

募 集

10万本植林プロジェクト協賛の募集

市では市有林の伐採跡地などを自然林へ転換する「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を推進するため、今年度から年間1万本の植林を行い、10年間で10万本を植林するプロジェクトをスタートします。プロジェクトに賛同し、苗代などを提供していただける企業や団体などを募集します。

- 対象=市内外の企業・団体など
- 協賛内容=苗代などの資金提供や社員の植林教室への参加など ※自社主催の植林教室も支援します。
- 募集期間=5月10日(火)～6月17日(金)
- 植林方法=宮脇昭方式(混植・密植方式)

問・申=環境衛生課生活環境政策グループ☎(64)0961

World Holiday Tour(世界の祭日ツアー)

国際交流員と一緒に工作やゲームをして、外国ではどのような祭りを祝っているのか体験してみませんか。

- 日時=5月28日(土)午後2時～5時
- 場所=隼人町宮内地区公民館
- 定員=25人(申込多数の場合は抽選)
- 対象者=小中学生
- 参加料=500円程度(保険料込)
- 申込期限=5月23日(月)

問・申=企画政策課国際交流グループ☎(64)0914

発達障害の学習会

- 対象者=市民で幼児期や学童期の発達障害に関心のある方

【幼児期】

- 日時=5月25日(水)午前10時～11時30分
- 場所=国分保健センター

• 内容=発達障害を知ろう(子どもの育ちと発達障害)

【学童期】

- 日時=5月23日(月)午前10時～11時30分

- 場所=国分公民館3階大会議室(国分シビックセンター内)
- 内容=子どもの発達について
- 申込方法=資料準備のため各学習会の5日前までに電話などで申し込みください。

問・申=長寿・障害福祉課障害福祉グループ☎(64)0995

きりしま女性講座

女性が生涯学習を通じて、潤いのある心豊かな生活を実現するために講座を開設します。

- 対象者=市内在住、市内勤務の成人女性
- 定員=70人(申込多数の場合は抽選)
- 期間=6月～1月(全8回)
- 開催時間=午前9時30分～11時
- 場所=国分公民館3階大会議室ほか
- 受講料=1,000円(見学ツアーに参加される方は別途保険料がかかります)
- 申込期限=5月25日(水)必着
- 申込方法=往復はがきに講座名、氏名、年齢、住所、電話番号を記入して郵送(返信面の宛名には自身の住所と氏名を記入)

期 日	学習課題【講師(敬称略)】
6/4(土)	開講式/『夢紡ぎつつ明日へ』21番目のやさしさにーダウン症のわたしからー【若元 綾】
7/2(土)	霧島山新燃岳噴火をよみとく【井村隆介】
8/6(土)	心と体のセルフメンテナンス～リンパマッサージ～【雪松のぶ子】
9/3(土)	地域で支える認知症【市長寿・障害福祉課】
10/1(土)	快適な旅の舞台裏～鹿児島空港見学ツアー～【鹿児島空港ビルディング(株)、全日本空輸(株)鹿児島空港所】
11/5(土)	食べもの情報のウラ・オモテ～食のブームを考える～【倉元綾子】
12/10(土)	近代日本の礎～きりしまの産業遺産～【市文化振興課】
1/21(土)	育てられる者から育てる者へ【片平眞理】/閉講式

問=生涯学習課「女性講座担当」☎(42)1118

ステキにシェイプアップ教室

ゆっくり座ってできる「セルフマッサージ」とリズムにあわせた「有酸素運動」で、ぽっこりお腹をすっきりシェイプアップしましょう。

期 日	内 容
6/8(水)	初めてのセルフマッサージ(筋膜マッサージ)、小顔マッサージ
6/22(水)	肩こり解消、二の腕・脇腹シェイプアップ、バランスボールでバランストレーニング
7/6(水)	カロリゲーションのコツ(食事編)、足ツボマッサージ
7/20(水)	らくらく骨盤矯正法、股関節ストレッチ、ストレッチポールエクササイズ
8/3(水)	セルフマッサージ総集編、ココロとからだの癒やし体験

- 対象=40歳以上の女性で特に運動制限などがない方
- 場所=すこやか保健センター
- 時間=午前9時～11時30分
- 募集人員=先着20人(申込多数の場合は初回申込

みの方を優先)

- 申込期間=5月16日(月)～20日(金)

問・申=すこやか保健センター☎(42)1178

男のシェイプアップ教室 ～ウエスト-5cmプロジェクト～

6種目の「筋トレ(筋肉トレーニング)」と「有酸素運動」で、ぽっこりお腹をシェイプアップしましょう。

- 対象=40歳以上の男性で特に運動制限などがない方
- 場所=すこやか保健センター
- 期日=6月1日～8月17日(毎週水曜・全12回)
- 時間=午後6時～8時(最終受付午後7時30分)
- 種目=スクワット運動、チューブトレーニング、バランスボール、踏み台昇降、ダンベルトレーニング、腹筋運動(6種目の筋トレを受付時間内の好きな時間に始めて好きな時間に終わります。健康運動指導士が随時、個別にアドバイスします)

※血圧・腹囲・体組成計測定、ストレッチ体操あり

- 募集人員=先着20人

- 申込期間=5月16日(月)から

問・申=すこやか保健センター☎(42)1178

全国戦没者追悼式

参列を希望されるご遺族の方を募集します。

- 期日/場所=8月15日(月)/日本武道館
- 対象者=戦没者の配偶者並びに三親等内のご遺族、一般戦災死没者の配偶者並びに三親等内のご遺族(過去参列されたことのない方が優先されます)
- 申込期限=5月31日(火)

問・申=保健福祉政策課☎(64)0904、隼人福祉課、各総合支所市民福祉課

天降川地区共同利用施設自主講座

◎「アロマテラピー手作り講座」～花とハーブのバスソルト～

- 日時=6月21日(火)午前10時～12時
- 定員/対象=20人/成人男女(定員になり次第締め切ります)
- 準備するもの=筆記用具
- 受講料=1,500円(材料代込み)
- 申込方法=直接または電話で申し込みください。

問・申=天降川地区共同利用施設☎(43)1951

サンあもり自主講座

◎「アロマで作る虫除けスプレー」講座

- 日時=6月16日(木)午前9時30分～11時30分
- 定員=20人(定員になり次第締め切ります)
- 受講料=2,000円(材料代込み)
- 申込方法=直接または電話で申し込みください。

問・申=サンあもり☎(43)3373

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____ - _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの周りであった身近な出来事や話題など、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中から霧島市自主文化事業「六月灯の三姉妹」のペアチケットを5人の方にプレゼント。応募締め切りは5月23日(月)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

霧島市役所 秘書広報課 行

(No.120/2011.5)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



アマドコロ(ユリ科)

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



私 はイベントをやりたいです。特にツツジが咲いているゴールドデンウイークに。タイトルは「花は霧島、ミヤマツツジ山の木・花・市」。同時にツツジハイキングをやりたいです。温泉は入浴無料、うどん・そばはチャリティーでおにぎりやおやつは参加者で。(霧島連山51歳男性)

ハイキングをするにはいい季節になってきましたが、降灰の影響でミヤマキリシマの開花が心配です。霧島連山さんのように「何とか霧島を盛り上げたい」という一人一人の気持ちが高燃岳噴火で落ち

込んでいる霧島に元気を与えてくれます。

九 州新幹線が開通しました。今まではバスや車、飛行機を使ってしか阪神へは行けませんでした。これからこの新幹線のおかげで、お手頃価格で足が伸ばせますね。3月末に広島の実家に帰省しました。

なにげなしにテレビを見ているときなり鹿児島観光CMが流れてきました。おそらく他県に対してのCMで鹿児島県に住んでいる私たちが見ることができないものだと思います。霧島神宮や指宿の

砂むし風呂、西郷さんの銅像とおなじみの風景がとても鮮明な映像で編集されており私は得意になって両親に「いいところだよ。おいでよね」と言いました。

実際に住んでいる私だって、もう一度訪れてみようかなと思わせるほどのCMでした。鹿児島県のいいところをもっとたくさんの人に知ってほしいです。(M・K 49歳女性)

九州新幹線が震災翌日の3月12日に全線開業しました。大阪方面からのお客さまが増えてほしいものです。それにしてもM・Kさんは「いいと

す。(つ)のつち26歳女性)

安心して住むことができてます。つちのつちさんのお話を聞いて、私も安心して地域なのではないかと感じました。

毎 月楽しみに読ませていただいています。久しぶりに始良の友だちに会いましたら広報誌のことで話が盛り上がりました。

友だちが「私、毎月広報誌を楽しみに霧島市に買い物に行っているよ」「どうして？」と尋ねると「だってこの表紙の写真が最高」そして内容がとても分かりやすく読みやすいから大好き」と褒めた後、次々に私の知らない情報を話すので恥ずかしくなりました。

私も表紙の写真にはいつも「いいところを捉えていらっしやるな」と、うっとり見入ってしまうことが多くあります

ころだよ。おいで」とさりと云えるところ、もう立派な「おじゃんせ霧島大使」です。

新 燃岳噴火による入山規制でさみしい思いをしています。霧島でも歩ける所を探して出掛けてみると、こんな素晴らしい所があったのかと感動します。知っているようで、まだまだ知らない。霧島の魅力は奥深いです。(かりんとう43歳男性)

そうですね。早く入山規制が解除になって安全に山登りを楽しみたいものです。神話時代からの歴史、風光明媚な風景、食材も豊富。見どころいっぱい。みなさんももっと霧島を探検してみたいかがでしょうか。

近 所で毎日のようにビニール袋を片手にごみ拾いされている男性をお見かけします。どんなに小さいごみも見落とさず黙々と歩いている手元はいつもごみでいっぱいです。

たが流し読みが多かったです。おかげさまで、この友だちと会う時は広報誌の話が話題になるので今はしっかり読むようになりました。市内の方はもちろんですが市外の多くの読者もエールを送って毎日楽しみにしていることをお伝えしたくてペンを取りました。(タンポポ60歳女性)

広報誌は市内の公共施設や大型店舗にも置いてあるので市外の方も読んでいただいているようです。子どもでも大人でも褒められるとうれしいものでやる気も出ます。これからは手にとってもらえる表紙の写真と読んでもらえる内容を目指してまいります。

釣 り好きの旦那は海に行くとカメとかイルカとかしょっちゅう見るとい。「いいなあ」と思っていたら、この間は「福山の海で今日はクジラを見た」と言って帰って来た。「えー、嘘!」と思っていたら、後日、新聞に錦江湾にクジラがいたという記事が写真つきで載っていた。

平気で道路にごみを捨てているあなた、この方の姿を見てもまだポイ捨てを続けませんか。(ももたん34歳女性)

ビニール袋を片手にごみを拾っている方を他にも見かけたりしますが、本当に頭が下がります。なかなかできることではありません。自分たちができること、それはごみを捨てないことです。

私 は先月、霧島に引越してきました。先日2歳の息子とお散歩していると近所のおじさんから「お散歩? 行ってらっしゃい」と声をかけられたり20代のお母さんからもあいさつをされたり、地域住民のつながりの深さを感じました。

最初はアパートにシャッターがなく(関東に住んでいたころは日が暮れると用心のため毎日シャッターを締めていました)主人の帰りが遅いため息子と二人で夜が不安でしたが、ここではその心配もないのだと今では安心して夜を過ごすことができます。

それにしてもイルカやクジラが見られる霧島の海ってすばらしいですね。(でも、旦那はカメラやイルカが出ると魚が釣れないと嘆いております)(イルカミタイコ40歳女性)

海抜0の錦江湾には雄大な桜島が浮かび、魚たちが泳ぐ自然の水族館。海抜1700の韓岳岳など霧島山は日本でも最初の国立公園になった山々。それが私たちの霧島市だなんてすごい。クジラのおかげで釣果なし。それもまた自然でしょうか。

題「雨」
出張雨 帰る天気
忘れぬ 涙雨
泣かし 涙雨
(東声吉吉男さん85歳男性)

私もよく傘を忘れます。85歳にしてこの創作意欲、頭が下がります。

※文書は添削させていただきます。場合がありますので予めご了承ください。

都会に託した
青雲の
残骸が
ふるさとに
ごろりと転がる
これは、帰郷した4年後に
作った五行歌です。



国分広瀬に松苗を植える子どもたち

青雲の志などは裏腹に、
志も無く中学校を卒業して憧
れだけを胸に、東京の叔父宅
に身を寄せたに過ぎません。
ましてや、戦後12年という
世相も知らず、進学して
ジャーナリストになるとい

ふるさと 故郷に転がる

◎濱田 キミ子

夢は泡とかき消えました。
そのころの東京は、敗戦から立ち上がり、さらなる発展に向かっていたとはいえず、日米安全保障条約や全学共闘会議など騒然とした時代でもありました。
その中で明るい話題は、昭和34年の今上天皇と美智子皇后とのご成婚でした。5年後の東京オリンピックも日本を元気にしました。
昭和63年、昭和天皇の崩御、続く平成元年の誕生。
この時期、私は事務職でしたが、4月から導入された消費税の対応のために、ゴールデンウィーク返上で価格などの変更入力に没頭したのを思い出します。
今年の東日本大地震は未曾有の大災害になっていますが、帰郷した年も悲惨な事が続き、大震災、3月20日の地下鉄サリン事件では通勤路線ながら、幸い災禍を免れることができました。
南に桜島、北に霧島連山と

風光明媚な故郷も、桜島は頂上の美しい姿を変えつつあり、霧島に至っては今年の大爆発に驚かされました。
刻々と変貌してゆく故郷にあって、公民館講座では二見朱実先生の絵手紙教室や松崎節子先生指導のコースを築き、昨年は一生に一度の体験にと、市民参加型のミュージカル「ひかるの夏2010」にも参加しました。
霧島市には平成19年に設立された薩摩義士顕彰会があります。宝暦四五年にかけて、徳川幕府の命令で、異郷にある木曾三川の治水工事に赴いた900余名の薩摩藩士の、埋もれてしまった偉業を顕し、その道義心を学び、報恩感謝の心を培って行こうとしています。
一昨年3月と今年4月には、藩士達が治水工事の完成時に植えた、今は千本松原と言われる子孫の松を、広瀬海岸の遊歩道に会員たちと定植しました。工事の総奉行で、完成後に割腹した平田頼負の慰霊



Profile

ハマダ キミ子 (69)
昭和17年3月国分広瀬(旧小村)に生まれる。昭和32年3月東国分中学校卒業後上京。平成7年5月、母(平成18年死去)と同居のために帰郷。同年車およびクリーニング師の免許を取得。平成16年より、施設管理会社で清掃業務に従事。霧島市薩摩義士顕彰会会員。

祭は鹿児島県の平田公園で毎年5月に行われます。
岐阜県では割腹、病死した84人の義士達が各寺で手厚く供養されています。
隼人の住吉墓地には、割腹した山元八兵衛の墓があり、毎年11月には慰霊祭が行われます。他にも近郷から美濃に赴いた藩士もいたはずですが、残念ながら情報がありません。
私は、微力ながら、先達者と共に薩摩義士顕彰会のお手伝いをさせていただきつつ、これからもこの故郷に転がっていきたくものと思っています。

霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 127,487人(-474)
男性 / 61,288人(-311)
女性 / 66,199人(-163)
出生125人 / 死亡 111人
転入957人 / 転出1,448人
◎世帯数 / 57,630世帯(-107)
(平成23年4月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

5 PRESENTS

お便りをくださった方の中から 霧島市自主文化事業「六月燈の三姉妹」 のペアチケットをプレゼントします

鹿児島のとあるシャッター商店街に軒を連ねる家族経営の和菓子店。「六月燈」の夜に、ハチャメチャ家族が奏でる心温まる狂想曲!鹿児島を舞台にした芝居を鹿児島にゆかりのある出演者たちが上演。
・期日=5月29日(日)・開演=15時・場所=霧島市民会館・チケット料金=(全席自由、当日500円増)一般3,000円、4歳~高校生2,000円、親子券4,000円、ペア割引券(大人2人)5,000円・チケット販売所=市役所互助会売店、きりしま国分山形屋、さすなカードインフォメーション、コブかごしま国分店・始良店、とらや各売店、ミヤタカンパニー、ファミリーマート、イープラスhttp://eplus.jp/、ローソン(Lコード86587)、チケットぴあ(Pコード410-500)、霧島市教育委員会文化振興課及び各出張所(平日のみ)

◎問い合わせ先=文化振興課芸術文化グループ ☎(42)1119



※読者プレゼントを提供してくださる方を募集しています。秘書広報課広報聴取グループ ☎(64)0955 までご連絡ください。

今月の表紙

キリシマツツジ
4月19日 午後1時30分

4月中旬、霧島永水の島田幸虎さん宅の庭は、約300本のキリシマツツジで真っ赤に染められました。このキリシマツツジは島田さん宅で先祖代代、受け継がれてきたもの。島田さんは「何年前から植えられているかは分からないが、父からも大切にするように教えられてきた。これからはわが家の宝として守っていきたい」と話していました。市内には、この花木を研究するグループも発足しています。



場所 県道都城隼人線の関之坂(国分重久) 通行止めにより迂回路となっている春山地区の霧島変電所近く。開花時期4月中旬。

避難所の文化会館を離れるとき係の方と約束した。「今度は音楽を聴きに來ます」。文化会館には音楽ホールがあるが、被災者が心から音楽を楽しめるには時間がかかるだろう。でもその日はやってくる。それまで自分にできることをやろう。そしていつか、音楽を聴きに行く(み)

農業という選択をした岩戸さん。長年勤めた仕事を辞めたとき、結婚はほぼ諦めていたそう。そこに訪れた運命の出会い。失うことを恐れず、前向きに進む人にはきっと「幸せ」がついてくる。うらやまがる私に「農業始めれば」と笑う岩戸さん夫婦。私なりに頑張ろう(う)

人の濱田です。初めてのコーナー(随想・学校へ行こう)を任せられ、頑張っていたある日のこと。上司から「濱田さんの原稿は非常に良かった」というお褒めの言葉。詳しく話を聞いてみると、随想を書いていた濱田キミ子さんのことで、とんだぬか喜びだった(は)

男の三者面談があり、彼の名誉のためにさすがに成績順は言えないが春休み後のテストが相当悪かった。「お母さん、お父さんに言わないで次は頑張るから」と言っているらしい。そのせいか長男が最近、私の前で変にニコニコしている。まったく、親の顔が見てみたいぜ(た)

市長コラム 前田終止

隣人愛が地域を守る

東日本大震災の復興支援の一つとして、空港所在都市間の防災協定に基づき、仙台空港のある宮城県取手市に支援物資の提供や市職員を派遣し避難所の支援活動などを行っています。避難所では、自治会長などがリーダーとなり主体的に管理されている所と、リーダーが不在で施設管理のほとんどを市の職員やボランティアで行っているところがあると報告を受けました。災害から自らを守る「自助」と自治会など地域で助け合う「共助」、そして地域リーダーの存在が大切であることを再認識いたしました。本市では、豪雨、噴火、地震、津波などの自然災害から市民を守るため前年度から5か年計画で防災行政無線統合デジタル化の工事に着手し、緊急時の情報提供に万全の体制を整備するなど「公助」の施設も整えつつあります。今回の大震災では多くの方々が犠牲になりました。私たちは生かされた日本人として助け合い支え合い、自治会活動などにより隣人愛の絆を深め「個」から「公」への転換を図ってまいります。